

高校連携授業案

パブコメ
インタビュー体験で
市政を考えるっ！



授業目的

- ・ 地域課題に関心を持ち、多面的に考察する力を身に付ける。
- ・ 地域課題について自分の言葉で説明し、多様な意見を引き出すことで、社会に関わる多様な立場からの視点で課題を捉えられるようになる。
- ・ 外部（市職員やまちづくり活動に取り組む団体等）と連携し、京都市の社会課題を題材とすることで、より「自分ごと」として解決方法を主体的に検討できるようになる。
- ・ 社会課題に対する意見を行政等に直接伝える（市政参加）体験をすることで、民主主義の担い手としての自覚（シチズンシップ）の涵養につなげる。

授業概要

- ・ 実施授業：「公共」もしくは「総合的な探究の時間」等
- ・ 実施時間：3コマ程度（2コマ目を自宅学習にしても可）
- ・ 授業の流れ

1コマ目

- ・対話型パブリック・コメントについての説明
- ・パブリック・コメントのテーマとなる計画等の内容を説明
(市職員より)
- ・各自でインタビューの内容を作成

2コマ目

or 自宅学習

- ・1コマ目で作成したインタビューシートを基に1人あたり5人程度にインタビューを実施。
(親、兄弟、友人、地域の人、先生など対象は誰でもOK)

3コマ目

- ・5～6名のグループになり、インタビューで集めた回答を共有し、意見交換する。
- ・収集した意見をとりまとめて、この取組を経て感じた自分自身の意見とともに京都市の所管課に提出する。

Day 1



京都市の考え方（１５分）

平成１５年に市民参加推進条例を施行

「市民参加」は
市政運営の基本原則

参政権とは？

参政権

【間接的な政治参加】

選挙などで選ばれた自分たちの代表者（議員）が政治に参加するという仕組み（間接民主制）。日本を含め、多くの国で主流となっている。

【直接的な政治参加】

国民全員が直接に政治に参加する仕組み（直接民主制）。

国民投票・国民審査・直接請求など

他にも直接的に政治に参加する方法が・・・

市民参加とは？

市民の
市政への参加

市民の
まちづくり活動

協働の精神

（市民と行政のそれぞれが果たすべき役割を自覚して
対等の立場で協力・補完し合うこと）

（市民参加推進条例より）

市民の
市政への参加

行政が主体



P D C Aサイクルの全ての場面で、
市民の意見を聴く
市民と一緒に事業を進める

市政への参加方法

パブリック・コメント

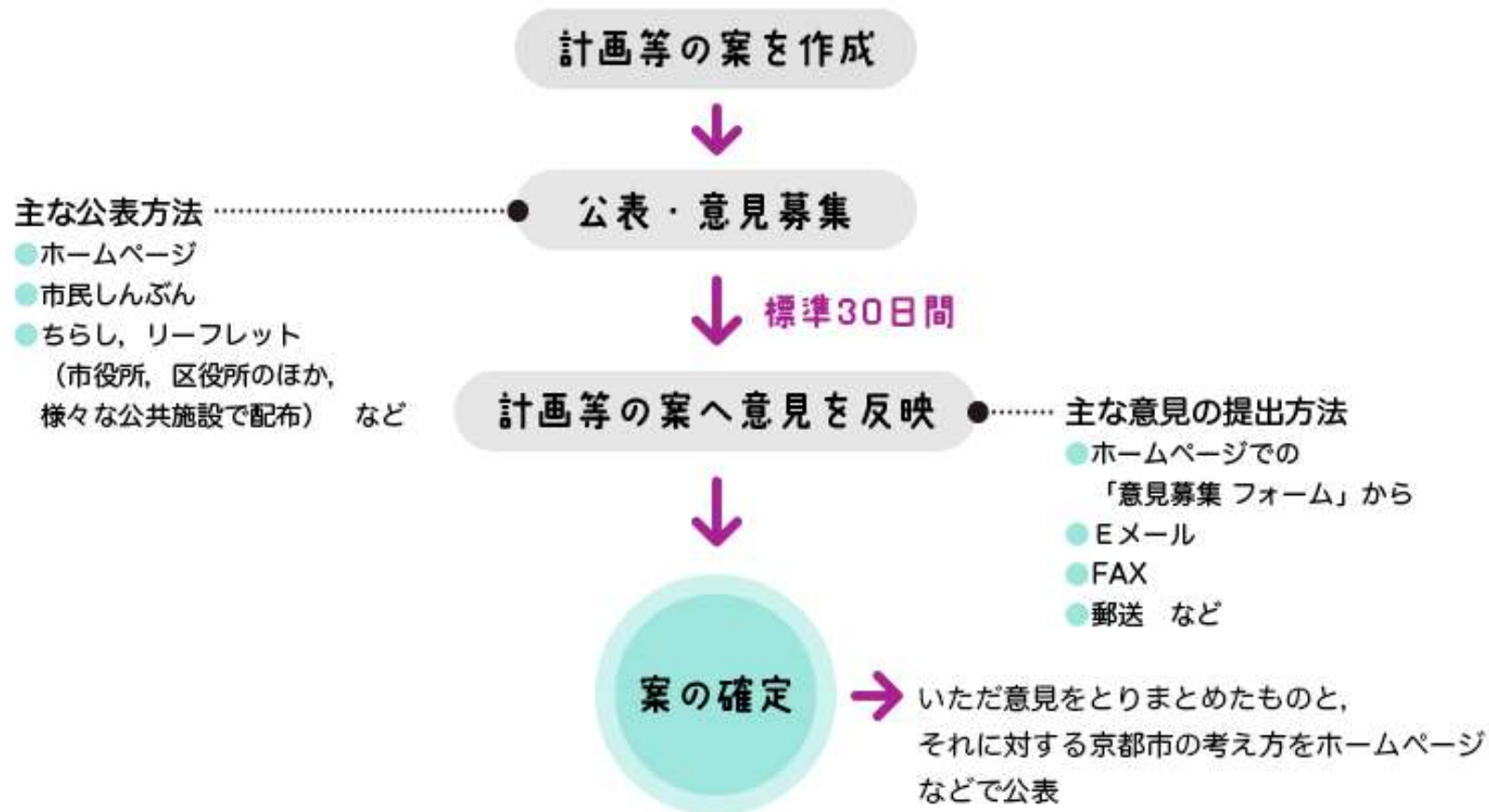
市民の皆様に市政に参加していただくための大切な制度。

京都市では、計画の策定や制度の創設等を行う際に

- (1) その目的や内容等が分かる案を公表し、
- (2) 広く市民の皆様の見解を募集し、
- (3) 寄せられた意見を考慮して政策等を決定するとともに、
- (4) 皆様の意見に対する本市の見解を公表します。



パブリック・コメントの流れ



パブリック・コメント

よい点

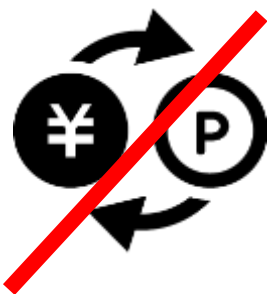


誰でも記入できる



意見に対する市の
考えを確認できる

留意点



抜本的な変更
をしにくい



意見が偏る可能性
(賛成の人の記入が少ない)



京都市の特徴

市民意見を聴くのに
対話・双方向性を重視している

対話型パブリック・コメント



従来のパブリック・コメントを発展させた新しい仕組み

イベントなど様々な場に赴き、直接、
その場で内容を説明して意見を書いてもらう



今回のパブリック・コメントのテーマ

「〇〇〇〇計画案について」

＊ 内容紹介（１０分） ＊

京都市役所〇〇局

〇〇、〇〇

※パブリック・コメント募集期間中でない場合、高校生が取り組みやすい内容がない場合等

- ・ 市民参加の推進
 - ・ 京都市政出前トークのテーマ
- のいずれかを選択していただき、調整します。

インタビューのマナー・ポイント

- * インタビューの目的を説明し、ご協力いただくことに必ずお礼を言う。
- * 相手の意見を否定しない。
- * 相手に「共感」して意見を聞き出す。
- * 計画、政策等の内容を非難されても、否定したり、説得するのではなく、なぜそう考えるかを問う。

積極的な性格の人、控えめな性格の人・・・
それぞれ聞き出せる意見が違うので、
それぞれ価値があります！

インタビュー項目を作成しよう！（5分）

対話型パブリック・コメントの流れ

意見募集中の計画・政策等について簡単に説明

インタビュー

- ・計画や政策のどの部分に興味があるか
- ・困っていることはあるかなど

説明する項目	インタビュー内容



インタビューの練習をしよう！

(インタビュー5分＋アドバイス2分) × 2セット

* 2人1組

* インタビュー 5分

終了後、アドバイス 2分

* 2人目に交代

疑問点やお困りごとがあれば、
市職員に質問してください！

Day 2

フィールドワーク
(自宅学習でも○)



インタビュー実践

* インタビューの対象 *

家族、友人、地域の人、先生など

「5名程度」

インタビューのマナー・ポイント

- * インタビューの目的を説明し、ご協力いただくことに必ずお礼を言う。
- * 相手の意見を否定しない。
- * 相手に「共感」して意見を聞き出す。
- * 計画、政策等の内容を非難されても、否定したり、説得するのではなく、なぜそう考えるかを問う。

積極的な性格の人、控えめな性格の人・・・
それぞれ聞き出せる意見が違うので、
それぞれ価値があります！

Day 3



グループワーク（30分）

- * 班のメンバーにインタビュー結果を報告しましょう。
- * 集まったご意見の中から、「共感するもの」「あまり理解できなかったもの」を選んで、その理由や気持ちをシェアしましょう。
- * この社会課題を解決し、より暮らしやすい社会にするための方法を考えましょう。



パブリック・コメントの作成（１０分）

- * パブリック・コメントとして、この取組を経て感じた自分自身の意見を記入してください。
インタビューした意見に合わせなくてOKです。
- * 時間が余ったら、班のメンバーにシェアしましょう。



京都市職員（所管課）より （１０分）

＊生徒のみなさんから出たご意見への見解や
今後、市政にどのように活かされていくのか
話してもらいます。

（テーマ所管課が出席できない場合は、市民協働が担当する。）



はじめて、つなげて、ひろげよう！ 「みんなでつくる京都」

京都のまちをつくるのは、私たち一人ひとり。まちの中の色々な「つくる」を見てみよう！
あなたは、どんなことで京都のまちをつくる一員になりたい？



「みんなでつくる京都」ポータルサイト

京都市の市政参加やまちづくり活動に関する最新情報が集まるポータルサイトです。

🔍 みんなでつくる京都

<https://tsukuru-kyoto.net/>



💡 まちづくり活動に
興味がある・参加してみたい

「まちづくり活動」ページで、相談窓口やまちづくりに利用できる施設の情報をチェック！
「まちづくり・お宝バンク」で、色々な素敵なまちづくり活動の実践例をチェック！

💡 京都市に想いや意見を伝えたい

「市政参加情報」ページで、今参加できるパブコメや審議会等をチェック！

💡 ワークショップに参加してみたい・
ボランティアしてみたい

「市政参加情報」の「その他の市政参加情報」ページをチェック！

💡 組織として、地域の課題・社会課題の
解決に取り組みたい

京都市が企業や事業者等と連携して、社会課題や地域課題の解決に挑戦する取組
「KYOTO CITY OPEN LABO」が令和3年度からはじまります！

みんなでつくる京都

このリーフレットの感想、
リーフレットを読んで
やってみたくなったこと、
リーフレットの面白い使い方など、
「# みんなでつくる京都」の
ハッシュタグをつけて、Twitter、
Instagram、facebookなど
SNSであなたの意見や
アイデアを投稿してください！